

スイッチボックスを用いた各種設定方法

○設定モードへの移行方法

スイッチボックスをコントローラ本体に接続し、イグニッションキーをONにします。
3桁LED表示が”S_F”と点灯すると、設定モードへの移行完了です。



* ネオスタンダードモデル(VTR/Ninja用)は”S_F”ではなく”S_U”が点灯します。

○スイッチボックスの操作方法

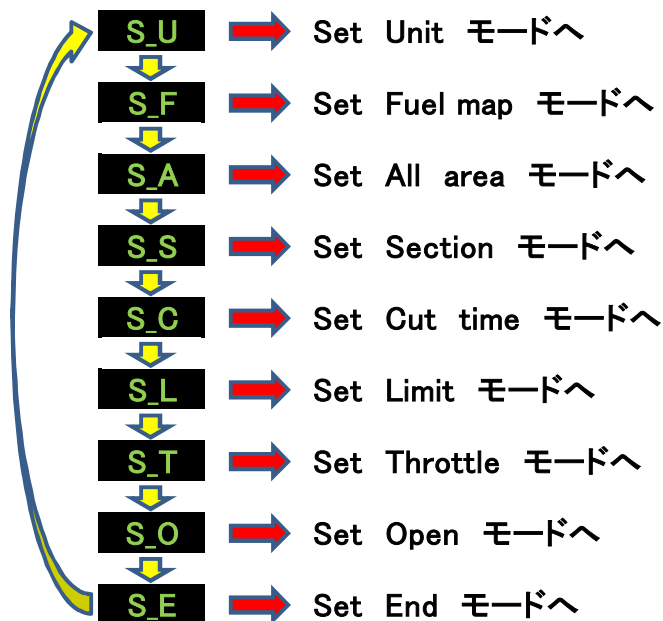
黄色スイッチ ⇒ 項目/数値データ変更

赤色スイッチ ⇒ 確定

○各設定モード

表示	モード名	機能
S_U	Set Unit	マシンがVTRかNinjaかを設定(ネオスタンダードモデルのみ)
S_F	Set Fuel map	電源ON時に展開するデフォルトマップ/編集するマップ番号の設定
S_A	Set All area	選択マップの補正值全体を一括で増減
S_S	Set Section	選択マップの補正值を区間を指定して、増減
S_C	Set Cut time	シフター使用時のフューエルカット時間の設定(TMAXは設定なし)
S_L	Set Limit	標準レブリミット以外に、サブリミット回転を設定
S_T	Set Throttle	アクセル開度センサ電圧値の設定
S_O	Set Open	アクセルワイドオープン時の加速ポンプ機能の設定
S_E	Set End	設定モード終了後、変更データを書き換える

○モード遷移図



* 黄色矢印 ⇒ 黄色ボタンを押し動作
赤色矢印 ⇒ 赤色ボタン押し動作

・Set Unit

ネオスタンダードモデルのみ、この設定を行います。
 このモードに入るとVTRモードの時は”A”，Ninjaモードの時は”B”を表示します。
 黄色ボタンを押すたびに、”A”と”B”の表示を切り替えますので、赤スイッチで確定して下さい。

・Set Fuel map

このモードでは

- ①起動時(電源ON時)に読み出す、標準使用マップ番号 の設定を行います。
- ②マップデータを編集する時の、編集対象マップ番号

このモードに入るとLEDディスプレイには、現在設定されているマップ番号が表示/点滅します。
 この時、黄色ボタンを押す毎に、点滅表示部の数値が1加算されます。

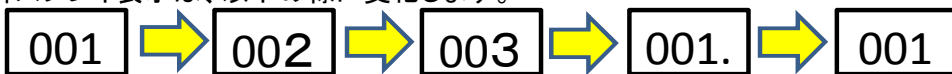
数値の表示には



の様に、同じ数値ですが、末尾に”.”が付いた物が存在します。

”.”が付いた物は、ユーザーオリジナルマップである事を意味します。

標準搭載マップ数3、オリジナルマップ数1の時、標準選択マップが1の場合、黄色ボタンを連続して押すとLEDディスプレイ表示は、以下の様に変化します。



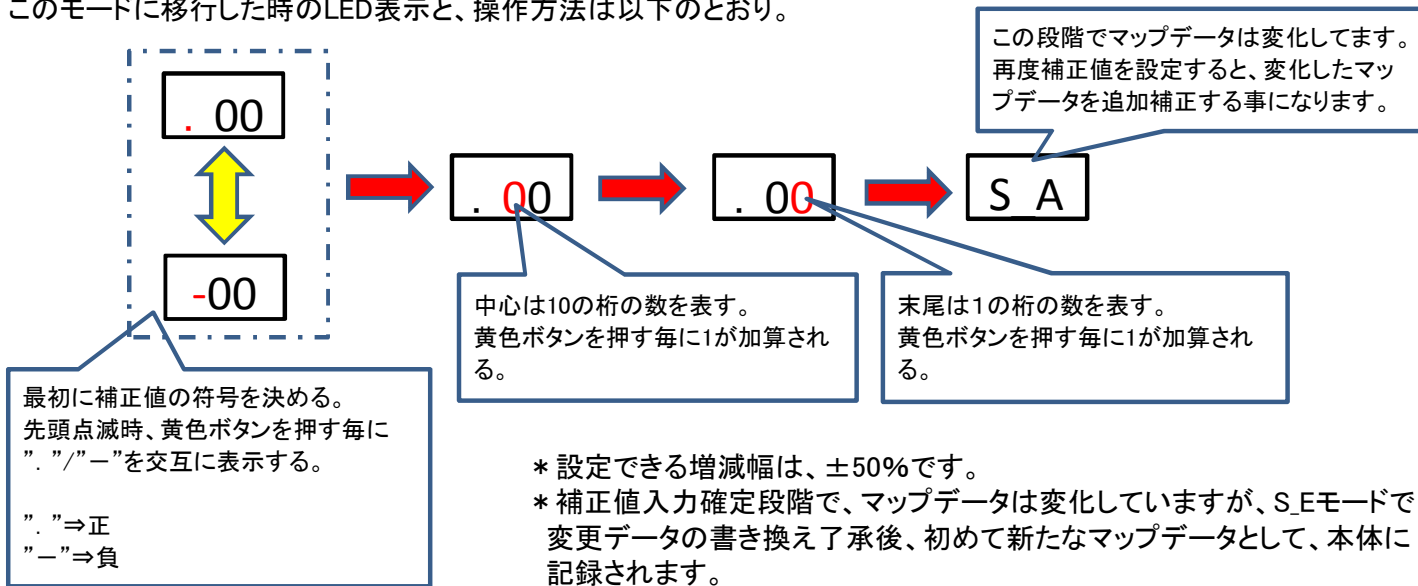
ボタンを押す回数が、保有マップ数を超えると先頭に戻ります。

使用/編集するマップ番号表示時に、赤色ボタンを押すと、入力が確定し、”S_F”表示に戻ります。

・Set All area

このモードでは、現在選択中の編集対象マップ補正値を、一括/一律の値で、相対的に増減します。

このモードに移行した時のLED表示と、操作方法は以下のとおり。



*** 操作例**

補正値マップ①

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	0	5	10	-10
	1500	0	5	10	-10
	.	10	15	10	30
	.	10	15	10	30
	10000	20	25	10	40

20%加算

補正値マップ②

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	20	25	30	10
	1500	20	25	30	10
	.	30	35	30	50
	.	30	35	30	50
	10000	40	45	30	50

補正値マップ②は補正値マップ①の補正値を、このモードを使って、一律で20%加算した時の物です。
 データは、表の様に変化します。

赤く表示されている、アクセル開度100%、回転10000rpmの補正値は、元のデータ40%に20%を加算したら計算では60%となりますが、設定範囲の上限が50%なので、この数値で制限されます。

・Set Section

このモードでは、現在選択中の編集対象マップ補正值を以下の条件にて、増減します。

- ①範囲を指定して、一括で相対的に増減を行う”範囲一括編集”
- ②特定の一点を指定して、絶対値で編集する”一点編集”

エンジン回転範囲設定、アクセル開度範囲設定、補正值の順番で設定を行います。

エンジン回転範囲及びアクセル開度範囲は共に、範囲下限値と上限値の2つのデータを設定します。



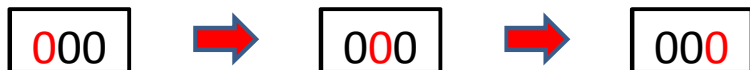
ここで $\text{エンジン回転1} = \text{エンジン回転2}$ $\text{アクセル開度1} = \text{アクセル開度2}$
と入力すると一括編集ではなく、指定した一点の補正值を絶対値で編集します。

エンジン回転数はLEDが3桁表示なので、実際の回転数は表示値のx100rpmとなります。(100は1000rpm)

アクセル開度は、0~100%なので、表示値と同じです。

値の設定は、黄色ボタンを押す毎に、点減部が加算され、赤ボタンで確定する毎に編集する桁が変わります

補正值マップの分解能は、回転500rpm, アクセル開度5%です。



* 黄色ボタンを押すと、赤色の部分が加算され、表示が変化します。

* エンジン回転設定値は500rpm~レブリミット回転数。

* エンジン回転、アクセル開度共に、範囲上限値設定時は、設定済みの下限値未満の数値は設定不可。

上記、4個のデータを入力すると、”Set All area”と同様の操作で補正值を入力します。

範囲一括編集時の初期表示は、”Set All area”同様”.”.00”を表示しますが、一点編集時は、編集対象の現在の補正值が表示されます。

* 範囲一括編集操作例

補正值マップ①

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	0	5	10	-10
	1500	0	5	10	-10
	.	10	15	10	30
	10000	20	25	10	40



補正值マップ②

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	0	5	10	-10
	1500	15	20	10	-10
	.	25	30	10	30
	10000	35	40	10	40

015

回転下限値

100

回転上限値

000

開度下限値

005

開度上限値

.15

補正值

補正值マップ②は、補正值マップ①を、上記データ入力操作を実施した後の物です。

* 一点編集操作例

補正值マップ①

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	0	5	10	-10
	1500	0	5	10	-10
	.	10	15	10	30
	10000	20	25	10	40



補正值マップ②

		アクセル開度			
		0	5	...	100
回転	1000	0	5	10	-10
	1500	0	15	10	-10
	.	10	15	10	30
	10000	20	25	10	40

015

回転下限値

015

回転上限値

005

開度下限値

005

開度上限値

と上記の様にデータ入力すると、次の補正值の初期表示は **.05** と、編集対象の1500rpm 開度5%の現在値が表示されます。

と、編集対象の1500rpm 開度5%の

ここでは、入力したデータその物が補正值となります。(絶対値で編集)

.15

と入力すると、補正值マップ②の様にマップデータが編集されます。

・Set Cut time

このモードでは、走行時にアクセルを全開にしたままで、シフトアップ操作を可能にする、シフター機能の設定を行います。設定するのは、燃料噴射停止時間です。

設定範囲は、0～100msecです。

ハーネスの加工により、スイッチ操作を行う事で、動作します。

設定値0の時、シフト機能OFFとなり、シフト動作スイッチの操作を行っても、シフトは作動しません。

設定時間は、短かすぎるとギヤが入りにくい現象が生じ、長すぎるとシフトアップ後のショックが大きくなります。

また、適切な時間設定でないと、ミッションにダメージを与える可能性もございますので、十分考慮して設定して下さい。

数値の設定方法は、他と同様です。

・Set Limit

このモードでは、本来のレブリミット以外に、もう一箇所サブリミットを設定する事ができます。

サーキット走行等における、ピットレーン走行時の速度抑制等に最適です。

ハーネスの加工により、スイッチ操作を行う事で、動作します。

LEDディスプレイに表示される数値x100rpmが、設定回転数となります。(設定値0で機能OFFとなります。)

数値の設定方法は、他と同様です。

・Set Throttle

このモードでは、アクセル開度センサー出力信号レベル(何ボルトで開度どれ位かを計算する基準)を再設定します。

製品出荷時に対応車種の基本信号レベルは設定されていますが、個体差やメンテナンス時のスロットルボディ脱着により、基準がずれた際に再設定する事で、レスポンス向上等に反映されます。

設定するのは、アクセル全閉時と、全開時の電圧値です。

このモードに入ると、LEDディスプレイに現在のアクセル開度センサ出力電圧値が表示されます。

全閉状態で、スイッチの赤ボタンを押し、全閉時データを記録します。

確定すると、LEDディスプレイ表示の一桁目の"."が点灯します。

この状態でアクセルを全開にし、LEDディスプレイの表示値が変化する事を確認し、赤ボタンを押し、全開時データを記録し、設定が完了します。

・Set Open

このモードでは、アクセルをワイドオープンした時の、燃料増量補正レベルを設定します。

レベルは0～10の間で設定可能です。

0でも、増量補正は行います。

設定方法は、他と同様です。

・Set End

このモードに移行した際に、各種データに変更点があると、新しい設定値をメモリに記憶します。

逆に、いくら設定値を変更しても、このモードに入らないと、新しいデータに書き変わりません。

マップ補正值に変更があった際は、以下の様に表示され、どのユーザーエリアに書き込むかを指定する必要があります。

001.

黄色ボタンを押して書き込み先を指定しますが、ユーザーエリアを初めて使用する時は"001."のみ選択可能です。

ユーザーエリアは最大3個まで使用可能です。

データの書き換えが完了したら、LEDディスプレイ表示が、消灯します。

*** 設定完了後、走行する際は必ず電源を切り、スイッチボックスを取り外して下さい。**

*** 設定モード移行中にエンジンの始動或いは、スイッチボックスの取り外しを行うと、設定モードは中断されます。**

*** Set End移行後、メモリアクセス中(書換え中)に電源が切れると、メモリ領域が破損する可能性がありますので、絶対に電源を切らないで下さい。(バッテリーコンディション等にご注意ください！)**